

平成27年度 年間指導計画
 荻窪小学校・久我山小学校 第3学年

荻窪小学校の目指す児童像
 「自分や友達よさに気づき、仲良く取り組む子」

久我山小学校の目指す児童像
 「自分や友達よさに気づき、意欲をもって活動する子」

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学習内容	学級経営	「自尊感情測定尺度」(1回目)で学級の児童の実態を把握する。 児童相互の関係を把握する。	自分のよさや友達よさの発見に着目した指導を実施する。 保護者会で子どもの実態を知らせる。		個人面談で子どもについて共通理解を図る。	2学期の指導の方向性を検討する。	保護者会で子どもの実態を知らせる。	「自尊感情測定尺度」(2回目)で学級の児童の実態を把握する。		「自尊感情測定尺度」(3回目)で学級の児童の実態を把握する。	自分らしさを受け止め、最高学年への意欲を高める。 この1年間での自分や他者のよさの、伸びや高まりを実感できる指導を実施する。		「自尊感情測定尺度」(4回目)で学級の児童の実態を把握する。
	各教科	社会「わたしたちのまちのようす」 学校の周り探検を通して気付いたことを発表し合い、自分と友達の意見には共通点や相違点があることに気付かせる。 体育<通年> 以下のことができるようにする。 ・友達のよい動きを見付ける。 ・準備や片付けを友達と一緒にやる。 ・勝敗を受け入れる。 ・発見したコツを共有し、全体で取り組む。 国語<通年> 相手によく分かるようにはっきり話し、相手の話しをよく聞く力を育てる。 感想の交流を通して、物事の感じ方は一人一人違うことに気付くことができるようにする。 社会 学校のまわりや区内の様子、そこに関わる人々の様子を知り、身近な人々の支えやこれからの自分の生き方について考えさせる。			音楽 表現(歌唱・器楽・音楽づくり) 表現や鑑賞などの幅広い活動を通して、自分の表現のよさや個性に気付くことができるようにする。 総合「荻小エコプラン」 人間温度計 建築学会や地域と連携し、日なたと日かげの違いを体感する。夏や冬を快適に過ごす為の工夫を考え、友達と交流させる。		社会「区の人々のようす」 商店街の様子について知り、様々な人々の支えによって生活が成り立っていることに気付くことができるようにする。 総合「大豆はかせになろう」 家庭や地域と連携し、大豆のよさについて調べ、家庭や地域に還元する中で、様々な人々の支えに気付くことができるようにする。		図工 絵画「カクカク王国」 粘土・張子 「たまごから生まれた生き物」 自分たちの作品や制作の過程などを鑑賞してよさや面白さを感じ取らせる。		社会「かわってきた人々のくらし」 地域や身の回りにある古い物探しを行い、友達と意見交換して道具年表を作ることで、協力するよさに気付かせる。 総合「お正月ってなあに」 正月遊びや風習について調べることで、人々の願いが行事になったことや様々な人と関わり合って生活していることに気付かせる。	音楽 音楽劇 「かさこ地蔵」 共同で行う創造活動等を通して、互いの個性を生かす協力する喜びを味わわせる。	
	道徳		生命の尊重 生命の尊さを感じ取り、友達や家族の大切さに気付かせる。	思いやり、親切 友達と協力して助け合う心育てる。			信頼、友情 友達と互いに理解し合い、信頼し助け合おうとする心育てる。	思いやり、親切 相手のために進んで親切にしようとする心育てる。		個性の伸長 自分の特徴に気付き、よいところを伸ばそうとする心育てる。	生命の尊重 生命の尊さを感じ取り、友達や家族の大切さに気付くことができるようにする。		信頼、友情 友達と互いに理解し合い、信頼し助け合おうとする心育てる。
	特別活動	当番活動<通年> 学級で生活していく上でなくてはならない仕事に、責任をもって取り組む態度を育てる。 1年生を迎える会 入学を喜びとともに、下級生に優しく接しようとする態度を育てる。 運動会 表現や団体競技の練習を通して、互いのよさや励ましてくれる人の存在に気付かせる。 さくら草まつり(荻窪) 久我山まつり(久我山) 自分たちでやろうと決めたことは最後まで粘り強く取り組めるようにする。 学級活動(～3月) よりよい学級にするために、「行うと楽しい活動」を考えて係活動に取り組めるようにする。					学芸会 進んで美しいもの、よりよいものを創り出すことに関心をもち、自分の個性を生かそうとする意欲をもつ。 運動会 表現や団体競技の練習を通して、互いのよさや励ましてくれる人の存在に気付かせる。		地域清掃、ユニセフ募金 世界や地域などに目を向け貢献意欲を高める。 学習発表会 自分が取り組んだ作品を発表する。鑑賞を通して、友達の作品のよさを見付けさせる。		6年生を送る会 卒業生に今までの感謝の気持ちを伝えさせる。 学級活動 「もうすぐ4年生」 1年間を振り返り、自分の成長について考えさせる。		
	<通年>縦割り班活動 異学年交流を深め、思いやりの心育てる。 <通年>構成的グループエンカウンター エクササイズを通して、友達の考えのよさや違いを知り、肯定的に認め合えるようにさせる。						<通年> 絵手紙(久我山) 巻紙の手紙や絵手紙での交流を通して、自分の行動が人の役に立っていることに気付かせる。						
指導方法	総合「生き物図鑑を作ろう」 協同学習の技法「ジグソー」を用いる。(テーマごとの専門家チームで調べ、元のグループで情報共有する。)協力し合うことでよりよい生活を送れることに気付かせる。 既習事項を生かして課題を解決する<通年> 学習のつながりを意識することで、「できるようになった。」「一人でできた。」という自分の努力を評価させる。				理科 問題解決学習<通年> 課題設定、予想→自分の考えという学習の流れの中で、互いの考えを肯定的に認め合うことができるようにする。 教え合いの工夫<通年> 教え合う活動を通して、理解者の存在に気付く意欲を高めることができるようにする。		図工 学習発表会 ・作品発表会を通して、友達の作品のよいところを見付け、伝え合わせる。 ・作品カードを書くことで、自分の作品の工夫点やうまくできた点について振り返らせる。		自分の立場を明確にする工夫<通年> 「分らない」「できない」ということが言える雰囲気を作り、できることからやってみようという気持ちと成功体験を積み重ねられるようにする。 学習形態の工夫<通年> グループ学習をすることで、助け合ったり協力し合ったりすることで、友達が支えてくれていることや友達の力になれることに気付かせる。				
教室環境 言葉掛け	教室整備 余計なものがない。整理整頓をする。	取り組みの発表の場 朝の会、帰りの会で児童が発言する場を設け、自分たちで考え主体的に活動できるようにする。	既習事項の掲示 単元の学習内容が見えることで安心して取り組める環境をつくる。	言葉掛けの工夫 「～はだめ」× 「～しよう」○ プラスの言葉掛けを意識する。	褒め方の工夫 場：個別、全体 伝え方：何がよいのか具体的に伝える 内容：できたこと 取り組んだこと 取り組もうとしたこと		いいねカード・たからのアドバイスボックス 発表やノートなど、よいところをカードや付せん書き、伝え合う。コメントを受けて改善する活動を行う際には、よいところとともにアドバイスも書いて伝え合う。よりよいものにするための意見として受け止めることで、自分とは違う考えを受け入れられるようにする。		ノート・学習カード指導 授業後に、丸を付けたコメントしたりして、児童の考えを価値付け、次時以降の意欲や自信につなげる。				

 荻窪小学校での取り組み
 久我山小学校での取り組み
 荻窪小学校・久我山小学校共通の取り組み